



あたらしくはいった本 令和7年3月 貸出開始資料から

●**小説** 世界99 上・下(村田沙耶香/著) 初瀬屋の客(西條奈加/著) ミナミの春(遠田潤子/著) 問題。(早見和真/著) 遊園地ぐるぐるめ(青山美智子、田中達也/著) 人生劇場(桜木紫乃/著) 梟の咆哮(福田和代/著) 彼女を見守る(ジャン=バティスト・アンドレア/著) ブリス・モンタージュ(リン・マー/著)

●**随筆・詩などの文学** 湯気を食べる(くどうれいん/著) おいしそうな文学。(群像編集部/編) 素敵な祖母たち(アリス・テイラー/著) 戦争とミステリー作家(西村京太郎/著)

●**その他の本** 発言禁止(森永卓郎/著) 紙バンドで作るちっちゃな動物バスケットと四季のお飾り(荒関まゆみ/著) 毎日読みます(ファン ボルム/著) これなら帰ってから作れそう! 218(オレンジページ料理班/選) 動物医の不思議な世界アニマルQ(野村潤一郎/著)

おはなし会がリニューアルしました

図書館で開催しているおはなし会を4月から一部リニューアルしました! 絵本や手遊びうたなどを楽しみませんか?

	ひよこの おはなし会	えほんとわらべうた プチ・ぷちぶちのおはなし会	えほんのもりの おはなし会
開催 日時	第1・3・5土曜 午前10時30分～	第2土曜 ①午前11時～ ②午前11時30分～	第4土曜 午前10時30分～
対象 年齢	2歳～	①0歳児 ②1・2歳児	幼児～

5月 としょかんカレンダー



○印の日は、
お休みです。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

太宰府の文華と公文書館だより 199

武藤資頼と太宰府

ページID: 7241

中世の太宰府を語る時に、武藤(少弐)氏を抜きにしては話が成り立ちません。そこで今回は、武藤氏が初めて太宰府にやってきた頃の資頼の代について紹介します。

資頼は建久6(1195)年3月以降に太宰府の地に下ってきたと考えられ、それは天野遠景が鎮西奉行の職を解任されて鎌倉に帰ったのと入れ替わりでした。そして遠景の後を受けて、朝廷の地方官庁である大宰府を掌握し、現地役人の筆頭である執行の地位に就いています。続いて大宰帥・大宰大式に次ぐ大宰府の官職である大宰少弐に任ぜられており、その時期は近年の研究によると、承元4(1210)年6月以前とされています。自身が太宰府の役職に任じて現地組織の長となることによって、遠景の時より直接的に大宰府を動かせるようになったと言えるでしょう。

その一方で、鎌倉幕府は各国に守護を設置し、九州でも守護が任命されるようになりました。これに伴い、資頼は筑前国(現福岡県西部)・

豊前国(現福岡県北部・大分県北部)・肥前国(現佐賀県・長崎県のうち杵岐・対馬以外)3カ国の守護に任ぜられています。(昨年12月号では対馬も含めていましたが、誤りでした。対馬は子の資能の代に初めて守護在職が確認できます。)任命の時期は、建久8(1197)年4～5月までさかのぼると言われています。そして政庁を太宰府の地に置き、「宰府守護所」と呼ばれていました。

資頼をはじめ鎌倉時代の武藤氏歴代が、政務に際して出した文書を見ると、大宰府が出した文書と、宰府守護所が出した文書の2通りが並存していた点が特徴的です。大宰府が出した文書は京都の朝廷からの命令を実行しており、宰府守護所が出した文書は鎌倉幕府からの命令を実行していると指摘されています。(資頼の文書については『市制施行30周年 太宰府人物志』82頁に詳しく解説しています。)

このように武藤資頼は、大宰府の現地責任者としての面と、3カ国の守護としての面を合わせ持っていたことが分かります。

太宰府市公文書館 大塚 俊司